

やっぱり 看護が好き

座談会

復職支援研修からの就業
part 3
研修病院への就職

Interview ● これからの看護

看多機の特徴を生かして、
より個別性の高い支援を目指す

おすすめ研修

リンパ浮腫のケア

復職支援研修10年の成果

平成30年度の研修について(ご案内)

東京都ナースプラザ

細谷 恵子さん 株式会社リープ代表取締役

看多機の特徴を生かして、 より個別性の高い支援を目指す

最近注目されている看多機^{かんたき}は、平成24年度介護報酬改定で創設された小規模多機能型居宅介護と訪問看護を組み合わせた「複合型サービス」で、平成27年度名称変更によって「看護小規模多機能型居宅介護 看多機」となりました。1事業所あたりの利用者は登録定員29人以下と小規模で、訪問看護 訪問介護通いサービス泊りサービスを、365日24時間にわたり組み合わせて利用することができ、それにより個別性の高い支援が可能になりました。長年、訪問看護ステーションの経営者として在宅看護に携わってきた細谷さんの思いもまさにそこにありました。利用者ご家族にとっての、より個別性の高い療養生活の実現を目指して「わいは」を立ち上げました。



「わいは」は、閑静な住宅地の中にある3階建ての建物です。一見普通の住宅のように地域に溶け込んでいますが、玄関や2階に明り取りとしてはめ込まれたステンドグラスが「わいは」の目印になっています。その外観には、「近隣の方にランドマーク的存在として親しんでもらえれば」という思いが込められています。

「訪問看護で出会ったのは、人生の最期を自宅で迎えたいと切望しながらも、遠く離れた施設や病院に行かなければならない人暮らしの方たちや老老介護の方たちでした。こういった利用者の方々を見るにつけ、もっと柔軟に対応できたらと、看多機開設への思いが募りました。そんなときに、ある利用者の方の看取りから、その方のご家族と縁がなくなり、現在の場所に開設することになったのです」

平成24年のことでした。3階部分は利用者の方の奥様の住居とし、「わいは」は建物の1・2階部分を利用するという構想でした。ところが、区では看多機が事業計画の中になく、その後計画を見直してくれたものの、利用者を受け入れる建物を新築した前例もありませんでした。そのため、とくに建築基準の適用や許可に多くの苦労があったそうです。さらに、地域住民の理解を得る必要

があり、なかなか前に進まない状況が続きました。

「当時は、特別養護老人ホームなど、大型施設の建築基準に則るしかありませんでした。想定していた庭などは造ることができず、設計士に理解していただくのも困難でした。また、地域密着型のサービスですから、近隣住民に理解していただくための説明会なども開催しました」

情熱を持って取り組み続けること構想から2年、平成26年9月1日にすべての問題をクリアして看多機「わいは」の開設に漕ぎ着けたのです。昨年9月には3周年を迎えました。利用者の年齢は73歳から98歳、要介護度は平均4.4と高めになっています。

「それでも、利用者さんが自分らしく、心身ともにいかに快適に過ごせるかに重きを置いています。たとえば、全介助の方であっても、排泄はトイレで用を足せることが当たり前という視点や、摂食嚥下機能を維持できるように、経管栄養に頼りきることなく経口摂取に取り組むなど、自立性を維持し高める方針で関わっています。そのために、通いや泊まり、訪問看護、訪問介護といった4つのサービスを、同じ事業所の多職種連携によって提供できる看多機の特徴を生かし、必要ときに必要なサービス計画を見直すことで、イレギュラーにも対応することが可能になるのです」

在宅介護の現場では、介護負担からご家族の精神状態が不安定になり、被介護者につらく当たるような場面も多いといいます。療養の一部をサポートすることで、ご家族の状況が安定して優しく対応できるようになるプラス効果も生まれています。ただし、スタッフが疲弊してしまうほどのやりすぎは禁物で、バランスが大事だといいます。

「わいは」は看護職、介護職、リハビリスタッフなどと合わせて19名で運営しています。職種が違ふと考え方やその方向性も異なることから、立ち上げ当初は職種間の意思疎通が難しいこともあったそうです。

「でも、利用者の療養を支えるためには、看護師であっても介護師であっても、医療の視点、生活の視点の両方を同時に持つことが必要です。両者が同じ場で連動することにより、視点がさらに拡がりました」

最後に、離職者復帰の場としての在宅医療についてうかがいました。

「どこでも、迎え入れる準備はしていると思います。ただし適性はあって、特に多職種と一緒に働く看多機の場合、自分と異なる考えも柔軟に受け入れられるような人であれば、やりがいを持って働いていただけたらと思います」



●プロフィール

細谷 恵子（ほそや けいこ）

東京警察病院高等看護学院卒業後、同病院勤務。その後、自治体の福祉部保育園（0歳児保育）保健担当となる。保健所事業の訪問看護指導から在宅療養の視点を獲得。介護保険創設と同時に介護支援専門員資格取得。

2000年、訪問看護ステーションの開設を目標に据え、訪問看護の経験を積む。07年には株式会社リープを起業し、目白訪問看護ステーションを開設。14年、看護小規模多機能型居宅介護「わいは」を開設する。

★「わいは」の名前の由来

細谷さんの出身地の青森県南津軽郡の言葉です。喜怒哀楽の感情を表現するときに感嘆詞として、たとえば「わいはは、めこいの」（まあ可愛いわね）と言葉に寄り添って使われます。人に寄り添う看多機のあり方への思いを込めて命名。

おすすめ研修

リンパ浮腫のケア

- 対象者…都内在住で就業を希望する離職中の看護職(要ナースバンク登録)、都内の中小規模施設に勤務する看護職
- 1回定員…30人
- 開催日時…平成30年1月19日(金) 9:30~12:30

●講師…鈴木牧子先生(国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院・医療リンパドレナージセラピスト・乳がん看護認定看護師)

定員30名のところへ48名の受講者がつめかけた本研修は、午前半日の開催ながら、講義によってリンパ系の解剖生理、リンパ浮腫の診断、他疾患との鑑別、複合的治療、合併症、終末期浮腫のケア



講師の鈴木先生



リンパ浮腫の原因についての講義に熱心に耳を傾ける受講者

休憩時間に、圧迫療法に使用する弾性包帯、弾性スリーブ・ストッキングなどに触れてみる

鈴木先生のデモンストラショを体感している受講者の様子

平成30年度の研修について(ご案内)

これからの向かおうとしている超高齢社会では、医療や福祉の

について理解したうえで、実際の症例で事例検討を行い、上肢のリンパドレナージ体験演習へと続く充実した内容でした。

鈴木先生は講義のなかで、看護師が初期兆候を知って早期に対応できる知識をもつことが悪化防止につながることを、最近重要視されるようになってきた日常生活指導など、患者さんのQOL向上に看護師が果たす役割が大きいことを強調されました。事例検討では、提示された患者さんの状態のどこに注目してアセスメントするか、目標をどこに設定するか、どのようなケアを展開するか、受講者に発言を求め参加者全員で検討しました。

研修終了時には多くの具体的な質問が寄せられ、終了後も鈴木先生をつかまえて質問する熱心な受講者の姿が見られました。

姿が劇的に変化します。医療や介護を必要とする状況には多様性があり、高齢者が暮らす環境も一様ではありません。中小規模施設の病院は、生活の場に近い医療機関として、地域と連携したより質の高い看護サービスの提供が求められています。東京都ナースプラザでは、都内の約70%を占める200床未満の中小規模施設で働く看護職の資質向上・定着促進のための研修とともに、再就業を目指す看護職への就業支援を行っています。

平成30年度の研修では、新規研修として、再就業支援研修1科目、在宅・地域看護関連研修3科目、最新の知見・技術研修1科目、今日的課題研修1科目、リーダーシップ育成研修1科目の合計7科目を加え、総研修科目数は55科目、総定員数は3,994名です。

その他にも、より多くの方々が受講しやすいように研修名や定員の見直しを行いました。

皆様のお手元に本情報誌が届く頃には、研修の開催予定がホームページにアップされていますので、アクセスしてみてください。

第二四半期の研修応募受付は3月5日(月)より開始します。多くのご応募をお待ちしています。

アンケートの回答「受講者の声」

●平成29年度研修参加者●

講義がとてもわかりやすく、臨床で活かせる内容でした。実技もあり、すぐに実践できる研修で楽しく学べました。

グループワークでは同じような規模の施設の方という話が出てよかった。

●再就職へのステップ3日間研修●

講義と実技のバランスがよく、楽しく学ぶことができました。皆さんと一緒に参加することで再就職への意欲もわきました。

●新人看護職員研修●

実際に働いていると日々のことに追われ、学生時代のように勉強する時間は取れないが、この研修を少しずつ復習し、日々の業務に活かしていきたいと思った。



〈出席者〉

川北 貴子さん

〔医療法人社団時正会 佐々総合病院 看護部〕

平原 智恵さん

〔社会福祉法人多摩済生医療団 多摩済生病院 看護部〕

宮本 やい子 就業協力員

〔東京都ナースプラザ〕

大田 敦子 所長〔司会〕

〔東京都ナースプラザ〕



復職支援研修 からの就業 研修病院への就職 part 3

＊復職支援研修（以下、支援研修）は、開始から11年目を迎えました。あなたのなかの看護経験をもう一度思い出して自信を取り戻し、復帰に向かって弾みをつけることのできる研修です。ご自宅の近くでぜひ受講してみてください。

アンテナを高くして情報をキャッチ

大田 本日は、支援研修5日間コースを受けて就職されたお二方においでいただきました。東京都ナースプラザ（以下、プラザ）では＊ゴールセンターを設置して離職中の方をサポートしていますが、皆さん、この研修を受けるのはハードルが高いとおっしゃいますので、まず、どのような経緯でこの研修に参加しようと思ったのか、お話しいただければと思います。



川北さん



平原さん

川北 私には、10歳と8歳と4歳の子ともがいます。4歳の子ともが昨年4月から幼稚園に入りましたので、復帰に向けて動き出そうとしていたところ、近所の病院に置いてあったチラシで支援研修があることを知りまし

た。お聞きしたら、幼稚園から近い佐々総合病院でも受けられることがわかりましたので日程を調べ、9月の開催を知りました。その頃になれば、子どもも延長保育に慣れているだろうと考え、この研修を受けさせてもらおうと、前々から思っていました。

平原 私も2人の子ともがおりまして、川北さんと同じ10歳と4歳です。下の子が幼稚園に入ったので復職を考えていました。支援研修があることは、新聞の求人広告で知りました。自宅に近い病院で研修を受けようと思いましたが、5日間はなかなか難しいと申し込みを躊躇していたのです。多摩済生病院では保育付きで研修が受けられるということでしたので、幼稚園の夏休み期間中の研修を申込みました。

大田 いづれから復帰を考えていましたか。

川北 一番下の子が幼稚園に上がって落ち着いたら働こうと思っていました。昨年度年明けから少しずつナースプラザが開催している講座を探し始め、6月から受講したりしました。また一番下の子が幼稚園の延長保育に慣れてもらうため7月頃から少しずつ延長保育に預けてみるようになりました。

平原 私も下の子が幼稚園に上がったかと思っていました。学校に行かせてもらって取った資格を活かさなければ、と心の中でずっと思っていました。

大田 平原さんは、離職期間はどれぐらいですか。
平原 私は上の子の出産で退職していますので、

ちょうど10年です。

宮本 川北さんは9年ぐ

らいでしたね。でも、お二人とも、いずれは看護師に戻りたいとずっと思っていたうえでの今回の受講だったのですね。

平原 これ以上待つていたら、二度と働けなくなるのではないかという思いもありました。（笑）

大田 お二人とも復帰に向けてアンテナを高く

していたからこそ支援研修の情報がひっかっ

てきたのだらうと思います。最近は働く環境が大きく変わっています。産休・育休を利用して、同じ職場で短時間勤務して、子育てが一段落したら再びフルタイムで働けるように勤務体制を整える病院もたくさんできています。しかし、お二人が退職された頃はそういう環境はまだ少なかったと思います。ある程度まで子育てをしてから復帰ということになりますので、支援研修を受けられるのは35〜45歳あたりの方が多いです。支援研修を通して職場環境のよい変化を感じていただければという思いがあります。

就業先病院の紹介

佐々総合病院

西東京市田無町に110年の歴史を刻む病院。地域にしっかりと根を張って地域医療に力を注ぐ一方、地域包括ケアシステムの輪の中では救急施設病院として急性期医療の一端も担う。地域のニーズにマッチした質の高い医療を、恕（おもいや）りをもって実践する「愛し愛される」病院作りを大切にしている。

病床数は183床。





申し込んで、受けてみて

大田 申し込みの電話をしたときはどうでしたか。

平原 はじめに事務の方が対応してくださいと、部長さんとも電話でお話をしました。堅苦しくないあたたかみのある対応で、ぜひ！という思いが伝わってきましたので、受けに行ってもいいのだと安心しました。

大田 ウェルカムな感じが伝わってきたんですね。川北さんはどうでした？

川北 電話するときはずっと緊張しました。看護部長さんや事務の方は、ぜひ来てくださーいといってくださいだったので、5日間連続でしたので、子どものことが気がかりでした。主人に相談したら、夏休みの休暇5日のうち3日を午後半休にして9月に取ってくれましたので、あとの2日は延長保育を使いました。

大田 理解のあるご主人ですね。お二人とも5日間コースでしたが、研修自体はいかがでしたか。

川北 基本的なことをしっかり押さえていただけたと思います。

平原 私もそう思いました。基本的な知識から入って、実際に病棟で吸引などの実技を体験させて

いただきましたが、そうだからという感じだったなという感覚を思い出しました。10年離れていても、自分の中のどこかに看護経験が残っているのだということがわかりました。それが復帰への弾みになったと思います。

宮本 研修に来るまでは勇気が要ったけれども、参加して実技演習や病棟実習をしてみたら、思い出して楽しかったです。それを経験していただきたのです。実際に働いていたときは大変だったこと

も、思い出してみると楽しいと感じるのは、「やっぱり看護が好き」ということだと思いますので。

就職先を選ぶとき重要視したのは

大田 お二人は支援研修を受けた病院に就職されましたが、就職を決めた理由は何ですか。

川北 まず、自宅から近いことです。それと、復帰された方が多く、ママさん看護師が多いので、半日勤務にも理解が得られるあたたかい職場と聞きま

したし、実際、研修でもその雰囲気を感じられました。支援研修を受ける時点で、訪問看護も視野に入れていましたし、子どもが3人いる事情からクリニックも考えていました。支援研修を受けて感じたのは、訪問看護はさらに一歩踏み出さなければならぬかもしれないということでした。ナースバンク（以下、バンク）の相談員の方にも聞いていただいたのですが、経験のある病棟で働いてしっかり学んでから、あとで考えようと思いました。

平原 研修中の実習は長期療養の病棟だったのでルーチンの仕事の流れがあつて、いま働くのなら、急性期より落ち着いて働けるのではないかと感じました。また、勤務の希望を伝えたところ、それでも十分働けるわよという言葉をかけていただきましたので。

大田 研修後どのくらいで復帰を決めましたか。

平原 1カ月ぐらい経ったところで連絡させていただきました。これを逃すと、研修を受けたということに満足してしまうのではないかと。やっぱり、いまいかないと思いました。何より、私の希望していた勤務時間では、どう考えても病棟は難しいと思っていたのです。それでもいいわよと言ってくださったことがうれしかったですし、ここで頑張ってみようと思いました。

川北 心の中ではほぼ佐々総合病院と思っていました。研修後2週間ぐらい経ったところで、バンクの相談員の方に相談して、近くのクリニックやほかの募集も検討して慎重に考えて結論を出しました。

宮本 支援研修を受けて、そこから復帰へは、もう一歩を踏み出す勇気が要りますね。

最初は無理せず時短勤務から

大田 お二人とも復帰して半年くらいになりましたが、現在どんなふうに通っているか教えてください。

平原 週2〜3日、8時30分から13時までの勤務です。清潔ケアや検査出しや食事介助をしています。日勤の皆さんが休憩に入る時間帯は病棟に残っていられます。

川北 私も9時から13時まで、週2日から4日働いています。9年ほどバンクがあつたので、採血が心配だったので、2〜3回で自信を取り戻しました。いまは患者さんを2〜3人受け持っていますが、時間の配分を考えていくうちに、自分のペースもつくれるようになってきました。

大田 休憩時間をフォローしてもらえて、現場は助かっていると思いますよ。働くことは楽しいですか。

川北 楽しいと言っているかわからないですが、とても充実しています。

平原 看護師として働く以上は責任があり、真剣に取り組まなければならぬという思いがあります。働き始めて改めて、病棟で患者さんと接することが向いていると思っています。

宮本 お二人とも、看護を選んだときの気持ちを忘れていないのですか。人と接するのが好きという、あたたかい気持ち根底にあると思うのです。でも、楽しく働けるというのはすごく大切なことだと思いますよ。

家庭との両立は

宮本 働いてみて家庭との両立はうまくいっていますか。とくにお子さんに影響は出てい

多摩済生病院

当時国民病と言われた結核の治療に生涯を捧げた創設者が小平市美園町に昭和11年開業。その後は国策の背景もあつて、近隣地域にさらに貢献すべく精神科病棟を増設。閑静で緑豊かな、療養のために最高の環境を備える病院。「二床一命」を病院理念に掲げ、分け隔てのない最善最良の医療の提供を目指す。病床数は、一般34床、療養84床、介護45床、精神262床（うち措置入院指定病床10床）の合計425床。

* 復職支援研修プログラム

コース	研修名	研修内容
1日コース	看護の魅力再発見講座	講義を主とするプログラム
5日コース	復職に向けた病院実習基礎編	1日コースに加えて模型や医療機器を使用した演習と病棟実習を主とするプログラム
7日コース	復職に向けた病院実習実践編	5日コースに加えて病棟実習を主とするプログラム
7日助産師コース	復職に向けた病院実習実践編	5日コースに加えて産科外来・病棟における実習を主とするプログラム

詳細 <https://www.np-tokyo.jp/about/activities/regional/reinstatement.html>

** コールセンター（東京都ナースプラザ 確保対策事業係）

TEL:03-5229-1525（平日9:00~16:30）

ませんか。

平原 子どもたちが学校や幼稚園に行っている時間帯に働いているので、あまり感じていないようです。たまに土曜日に勤務するときは下の子を連れて行き保育室に預けています。子どもたちが、私が働いていると実感するのは、そのときくらいでしょうか。

川北 うちも、子どもたちは私が仕事をしているのがよくわからないみたいで、2時に帰ってきちゃうの？ みたいな感じですね。(笑)

宮本 川北さんはお子さんのことをずいぶん心配されていましたが、大丈夫だったんですね。

川北 はい、そこが一番心配で、足踏みしていたところがあったのですが、走り始めたらずくに慣れて、いまでは延長保育にも喜んで行くようになりました。思っていたより慣れるのが早かったです。

大田 案ずるより産むがやすしだったわけですね。お母さんが仕事に充実感を感じていて、家庭でも安定しているから、相互作用でうまくいっているところもあるでしょうね。

宮本 復帰のタイミングもよかったのでしようね。

大田 支援研修に参加する期間は、復帰したときのトライアルという意味もあるかもしれないですね。川北さんのご主人は、働きはじめてからも応援してくれていますか。

川北 仕事をするようになってからは、朝出かけるまでは忙しいので、洗濯などを手伝ってくれるようになりました。ほんの少しのことですが、応援してくれています。

宮本 いまはお家にいるお母さんしか見ていないのでしようが、お子さん方がもう少し大きくなると、働いているお母さんに対して、認識を新たにするといいですよ。

平原 そういえば、上の子に白衣を着ているところを見てみたいと言われたことがあります。

大田 お子さんが大きくなってくると、だんだん手が離れてくると思いますので、そうしたら少しずつ時間を延ばしていつ、いずれはフルタイムで働けるようだといいですね。そして、ぜひ白衣姿を見せて

あげてください。

あたたかいバックアップは働き続ける原動力

宮本 就職したあとに、職場でこういったバックアップがあつて助かった、あるいはこういったフォローが働き続ける力になっているというようなことはありますか。

平原 研修のときお世話になった方に院内で会うと心強く思います。また、この数カ月で、子どもが熱を出してお休みしたことが何回かあったのですが、病棟のスタッフが「大丈夫、お互い様」と言ってくれたり、「13時で上がるとき、ちよと後ろめたいのですよね」と言いましたら、「そんなの気にしなくていいわよ」と言ってくれたりして、本当にありがたいなと思っています。

川北 復職支援で指導してくれたスタッフの方々は、院内で出会うと声をかけてくださいますし、部長さんも、週2日の人も大きな力になっていると言ってくださっているの、勇気づけられて、安心して仕事ができる職場だなと感じています。病院全体で後押ししてくれているという雰囲気があります。13時近くになると定時で帰れるようにと、みんな

なが「時間大丈夫？」という声かけをしてくれます。あたたかい職場でよかったと思っています。

大田 支援研修を受けた病院に就職することには、自分のことをわかっていくくれるという心理的なメリットがありますね。

ナースバンク登録は復帰への第二步

大田 プラザでは、離職された看護職の方の復職を支援するためにさまざまな取り組みを行っていますが、離職されている方に情報を届けるのはなかなか難しいと感じています。バンクに登録していただければ、役立つ情報をたくさんお届けできるのと、私たちも菌がよい思いをしています。お二人のバンク登録はどんなタイミングでしたか。

平原 バンクの存在は知っていたのですが、支援研修を受けるために初めて登録したところ、いろいろな支援があることを知りました。そして、実際に就職してみたら、小さいお子さんを持ちながら働いている方がたくさんいることがわかりました。もっと早く知ることができれば、復帰も早かったかもしれません。

川北 私は採血の体験のために、支援研修の3カ月ほど前に登録しました。その後は研修も受けて復帰に備えることができました。

また、支援研修後には就職先についての相談にも乗っていただきました。まずは経験のある病棟で復帰するという私の考えを後押ししてくださったのも相談員の方で、親身に話を聞いていただきました。

大田 今後はますます広報活動にも力を入れていきたいと思っています。お二人とも、家庭のことも仕事のことバランス良く、長く継続して働き続けていただければと思います。本日は本当にありがとうございました。



前列左から平原さん、川北さん、
後列左から大田所長、宮本協力員



復職支援研修 10年の成果

●受講者総数は3,126名で
就業者総数は1,921名

●就業率は毎年度平均60%台をキープ

●年代別受講者数は
40～44歳が最多

- 未就学児をもつ人が2割弱へと減少
- 再就業の意向は「再就業したい」が20歳代に次いで多い。
- 再就業したいのは「経済的理由」が最多

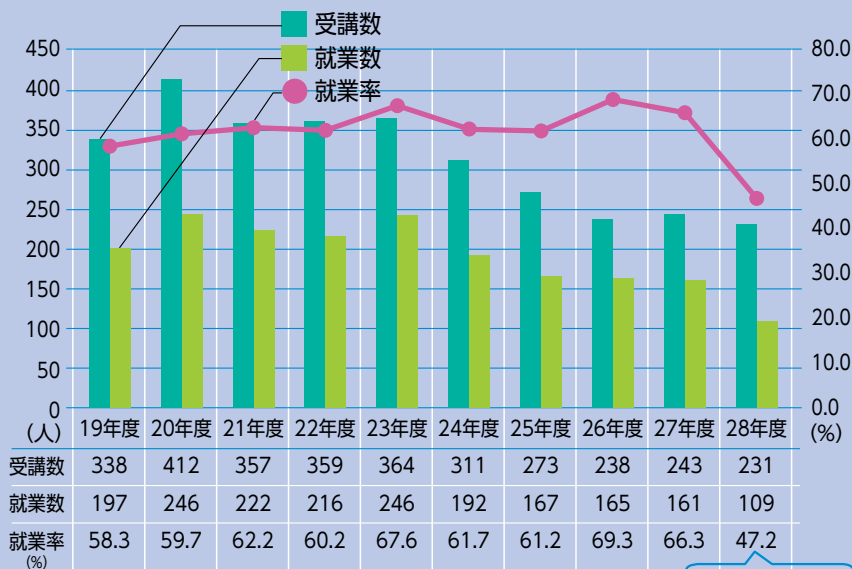
●復職後の就業先は
病院が最多

- 病院就職のうち研修先病院への就業者総数は602名(51.8%)
- 研修中に病院の雰囲気や勤務条件等が把握できるためと思われ、受講者の就業希望を就業協力員が病院管理者へ伝え、復職への橋渡しをした結果と考えられた。

東京都ナースプラザが行っている復職支援研修が企画・実施されてから10年が経過しました。その成果を、第13回東京都福祉保健医療学会(平成29年度)での研究発表からダイジェストしてお知らせします。

病院就業者のうち5割以上が研修先の病院で復帰を果たしており、支援病院のさらなる増加に期待が寄せられます。毎年4月上旬に支援病院の公募を行っておりますので、詳細につきましてはホームページをご覧ください。

●年度別研修受講者数・就業者数・就業率



29年6月30日現在

●復職後の勤務形態は
非常勤の日勤業務が多い

- 子どもの成長を待って少しずつ勤務時間を拡大するなどのキャリアプランを考えているためと思われる。
- 短時間勤務など多様な勤務体制や就業後のサポート体制をさらに整備する必要がある。

●研修内容についての
アンケート結果

- 講義・演習ともに「良くわかった」——約75%
- 復職に向けて「不安が軽減できた」——62.4%
- 復職への意欲向上に「つながった」——89.5%

もし睡眠負債があることがわかったら、平日の睡眠時間をいまより少しだけ長めにし、週末も同じようにするのがよいそうです。週末の寝貯めに頼ると生活のリズムが乱れて、平日の睡眠に支障が出るなど、かえって負債を増やしてしまうリスクが高いのだそうです。なんといっても、返済は早いほうが吉！

出典 <http://www.nhk.or.jp/special/sleep/>
睡眠負債チェックリスト <http://www.nhk.or.jp/special/sleep/index.html>

睡眠負債を返済しよう



国民的辞典と言われている「広辞苑」の第7版が、10年ぶりの大改訂を終えて1月に刊行されました。この10年間でさまざまな新しい言葉や言葉の使い方、社会の動きを表す言葉などが1万項目も追加されたと新聞報道されていました。この記事を目にしたとき、以前読んだ、新しい辞書を作る過程を描いた小説「舟を編む」を思い出しました。その辞書は、変化し続け留まることのない言葉の海を渡る舟という意味で「大渡海」と名づけられていました。

看護の世界から離れて何年かたてば、その変化が見えなくて、復職することへの不安な気持ちがあるかもしれません。

ナースプラザは、看護職の皆さんの就業への舟を、研修や情報の提供、就業支援などを通じて編んでいきたいと思っています。

(A・O)

●都内の街路樹●

ハクモクレン

都内に多い街路樹トップ20のシリーズが前号で終了しました。今回からはその他の街路樹をアトランダムに取り上げていきます。

ハクモクレンは中国原産の高木で、3月ごろ、香り高い白色の大きな花を咲かせます。花びらは9枚あるように見えますが、じつはうち3枚が同色のガクで、本来の花びらは6枚です。短毛に覆われたつぼみは南側からふくらみ始めるため開花時に先端が北を向く傾向があって、「磁石の木」とも呼ばれます。

今回の表紙で取り上げたのは「目黒天空庭園」。首都高・大橋ジャンクションの屋上に造成された区立公園で、上から見るとモチーフのように大きなループを描いています。ブドウを栽培してワインを醸造するなど、ユニークな取り組みが行われています。

職業安定法改正のお知らせ

(平成30年1月1日施行)

求人者の
皆様へ

有料・無料
紹介事業者
に対しても

- 職員を募集するときは、法令に従って労働条件を明示してください。
トラブル防止のため、労働条件は書面で明示することが望まれます。
- 求人票などに明示すべき労働条件が追加されました。
- 労働条件を変更する場合は、変更内容がわかるような形で明示してください。
- 「人材サービス総合サイト」に紹介実績を掲載することが義務付けられました。
「紹介によって無期雇用契約で採用になった人数」と「その中で6か月以内に退職した人数」を掲載することになりました。
そのため、紹介した看護職の6か月後の就業状況調査がありますので、ご協力をお願いします。
- 紹介によって無期雇用契約で就職した人に、2年間は転職を勧めてはならないことになりました。
- 求職者に「就職祝金」などの金銭を支給することは望ましくない、と示されました。

今回の改正の目的は「求人トラブルの防止」です。

求人者の方は、法令を遵守し、紹介事業者を利用する際は適切に選択しましょう。

求職者の方は、応募と契約の時点で、労働条件をきちんと確認しましょう。

★改正内容の詳細はこちらをご覧ください。

厚生労働省HP 「労働者を募集する企業の皆様へ」

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000172497.html>

●ナースバンクをご利用の求人者には求人票登録時に助言等を行っています。

お問合せは
こちらまで

ナースバンク東京 03-3359-3388
ナースバンク立川 042-529-7077



ナースバンク東京 TEL03-3359-3388

ACCESS

ナースバンク東京

- JR中央・総武線 飯田橋駅東口から徒歩7分
- 東京メトロ東西線・有楽町線・南北線 飯田橋駅 出口B1から徒歩6分
- 都営大江戸線 飯田橋駅 出口C1から徒歩5分
- 都営大江戸線 牛込神楽坂駅 出口A3から徒歩5分

ナースバンク立川

- 新所在地:立川市曙町1-21-1
ユニゾ立川ビル6階
- JR中央線・青梅線・南武線 立川駅北口から徒歩7分
 - 多摩都市モノレール線 立川北駅から徒歩7分

東京都ナースプラザ 検索

- ホームページ:<https://www.np-tokyo.jp/>
- Eメール:np@np-tokyo.jp



ナースバンク立川 TEL042-529-7077